

## 第二回委員会のご意見と対応

---

# 検討内容とスケジュール(案)

## ■第1回委員会(平成26年10月22日)

- (1) 海岸保全施設の維持管理に係るこれまでの取り組み状況と検討事項について
- (2) 海岸保全施設の修繕等の事例について
- (3) 修繕等のあり方に関する検討方針について

## ■第2回委員会(平成27年1月20日)

- (1) 第一回委員会のご意見と対応
- (2) 海岸保全施設の修繕等のあり方について
- (3) 事例集のとりまとめ方法について
- (4) 点検結果の記録・データベースについて

## ■第3回委員会(平成27年3月3日)

- (1) 第二回委員会のご意見と対応
- (2) 海岸保全施設の修繕等のあり方について
- (3) 点検・修繕等の結果の記録について

# 主な指摘内容と対応

No.	分類	御意見等の概要	御意見への対応(案)	反映箇所
1	修繕のあり方	海岸保全施設は法律上、堤防、護岸、胸壁の他に離岸堤等の施設も指す。 委員会のとりまとめは、既往のマニュアルに準拠するものであれば、マニュアル同様に副題(「～堤防・護岸・胸壁の…」)を入れ、対象構造物を明示するべき。	副題を追加しました。	資料3
2		事例集p.28の事例は、ひび割れによって海水が侵入し、堤体土砂が吸出され、パラペットの真裏が空洞化していることが多い事例なので、ひび割れだけを補修するのではなく、裏側でどんなことが起きているかをリンクさせるような記述をすると良い。	掲載事例ごとに、変状及び推定される変状連鎖パターンを示し、「適用にあたっての留意点」を記述しました。	資料3 4(事例集)
3		写真だけでは、変状に至った経緯についてわからないので、工夫すること。		
4		健全度Bの基本的な考え方は、変状原因を検討した上で対策を行うという観点で見直してはどうか。例えば、“原因の検討を行う”などと記述する。	ご意見を踏まえ、反映しました。	資料3 2-2(3)
5		変状連鎖図は、原因を検討する上での手がかりとして使うのは良いが、これ以外のものもあるので、その点は注意が必要。	適用範囲を明確化しました。	資料3
6		修繕の考え方は、マニュアルに示す1次点検を実施し、必要に応じて2次点検を行い、評価し、原因に分析を行うことを前提としたものであることを、記載したほうが良い。		資料3 2-1(3)
7		健全度Bの基本的な考え方に示す波浪による対策に関する記述は、もう少し強調してとりまとめた方がよい。 予防保全には、小規模なバッチあての対策もあれば、大規模な侵食対策がある。 後者であれば、きちんと原因をつぶさないといけない。	ご意見を踏まえ、反映しました。	資料3 3(各シート)
8		具体例で示している工法はあくまで例であり、変状原因への対策はいろいろな種類や規模の幅があることがわかるようにすると良い。		資料3 3(各シート)
9		変状連鎖図は、出典のとおり「Step I」～「Step V」と表記しているが、この資料では説明がないので、健全度評価A～Dで整理したほうが良い。	「Step I」～「Step V」は削除し、変状は段階を設けて色分けをしました。	資料3 3
10		事後保全を勧めているような誤解が生じないようにする必要がある。 方向性は、まずは、健全度Aになる前に修繕をしていくという予防保全の考え方があり、一方で、海岸保全施設の現状を鑑みれば、今後は新設する施設が少なく、既存の施設で健全度Aの施設が多いため、現状においてはそのような施設の事後保全を行うということだと思う。資料にもこのような考え方を書いた方が、誤解がないのでは。		
11		健全度Cは、対策区分としては「要監視」であるので、基本的な考え方は、健全度Bと同じではない。できれば対策した方が良いが、優先順位としては、健全度Bのほうが上である。ただし、健全度BとCは、一緒に対策をした方が効率的な場合等もあるので注釈は必要。	ご意見を踏まえ、反映しました。	資料3 2-2(5)
12		対策の優先順位は健全度A、B、Cの順ということには注釈が必要。 予算の状況等によって、健全度Bを優先することもあるので、判断が機械的にならないよう注意が必要。		

# 主な指摘内容と対応

No.	分類	御意見等の概要	御意見への対応(案)	反映箇所
13	事例集	対策後、相当年数経過した事例を用いて、これまでの対策が有効か確認する視点で整理できると良い。	過去の修繕事例について調査をしましたが、情報の不明な施設も多く、明確な整理が難しいと判断しました。	—
14		掲載事例のなかで、平面的な観点から長期的に見た場合、対策の工夫が可能なものがあるため、これらの事例の示し方を工夫すると良い。	「適用にあたっての留意点」に記載できるようにしました	資料3 4(事例集)
15		事例集p.31の造り替えの事例は、造り替えの時に以前より材料の工夫などがあったため長寿命化したということであると思うので、造り替えると単純に長寿命化するという誤解が生じないように配慮してほしい。	ご指摘について、「工法の選定理由」に反映しました。	資料3 4(事例集)
16		資料3の修繕の考え方と事例の整合がとれた整理をすると良い。	変状パターンが推定できるものは関連づけて整理しました。	資料3 4(事例集)
17		委員会資料では、波浪が原因の変状に対する修繕についてとりまとめられているが、外観上は異常が見られなくても堤体が沈下して天端高が不足しているといった進行型の変状についてはどのように取り扱うのか。	ご意見を踏まえ、進行型についても整理しました。	資料3 3(図1.3)
18	データ ベース	点検結果等の等の記録等の様式などは、ベースが共通であれば便利である。	点検記録は、エクセルベースでの記録様式を提示します。これにより、データベースを作成する段階でも、整理が容易であると考えています。	資料4
19		変状が進み健全度が不足している施設について、被災があつてはじめて変状が明らかになる事例も多いと思う。このような事例などの記録も、点検のデータベースとうまくリンクする形でまとめていく方向になると良い。		
20		データベースに入力する作業が発生するのでは、労力の面から厳しいので、データベースに抽出しやすい点検シートを作るなど、作業労力を軽減できるようにできればよい。		
21	まとめ	提示する事例について、良い点、留意点などが利用者に伝わるような工夫をすること。	「適用にあたっての留意点」として記述しました。	資料3 4(事例集)
22		マニュアルを使えば全て出来るというわけではないため、考えなければならないポイントを伝わるようにとりまとめること。	ご意見を踏まえ、とりまとめました。	資料3